

《担当者名》中田 雅美[mnakata@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

情報化の進展により人々の生活が便利になる一方、人より早く役に立つ情報を手に入れたものが得をするような社会構造が作り出されているともいえる。本講義では、情報化社会における地域そのものや地域における福祉（地域／福祉）について考察を深めることを目的とする。さらに、先行研究や先進事例から地域／福祉の「見える化」の目的と方法をおさえた上で、実際の地域／福祉のデータを基に、一連の情報処理の実際を示すことで、履修者の研究等への活用を期待する。

【学修目標】

- 1) 情報化社会における地域／福祉について考察できる
- 2) 地域／福祉の「見える化」の意義と方法を説明できる
- 3) 地域／福祉に関わる情報処理の実際（収集 分析 加工 提供）を理解できる

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|-------|--------------|-------------------------------|-----|
| 1 | オリエンテーション | 本講義の学修目標とすすめ方 地域／福祉とする意味 | 中田 |
| 2~4 | 地域福祉情報の基礎 | 関連文献の購読と討議 | 中田 |
| 5~7 | 地域／福祉の「見える化」 | 関連文献の購読と討議 | 中田 |
| 8~10 | 事例検討 1 | 関連データの収集と分析 | 中田 |
| 11~13 | 事例検討 2 | 関連データの加工と提供 | 中田 |
| 14-15 | 総合討議 | 総合討議「情報化社会における地域／福祉」 全体の総括 | 中田 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業への参加状況（準備およびプレゼンテーション）50%、レポート課題50%により総合的に判断する。

【教科書】

使用しない

【参考書】

森本佳樹著『地域福祉情報論序説「情報化福祉」の展開と方策』川島書店（1996）

笠原千絵編著『地域の 実践 を変える社会福祉調査入門』春秋社（2013）

そのほか、必要に応じて資料・文献等を配布する